



更地になったリバサイト住宅

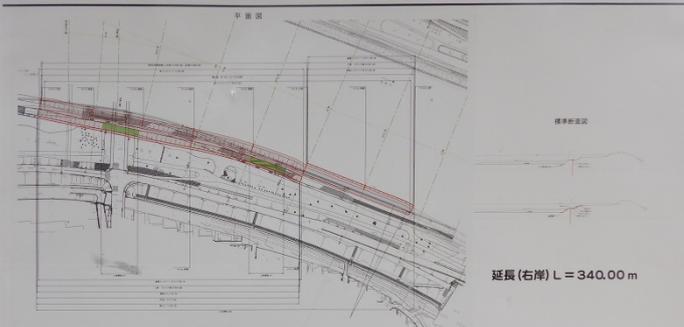
パラペットと同じ高さまで盛り土された



青葉台側から見た仮設道路

仮設西宝橋への接続仮設道路。

### (二)武庫川水系武庫川 低水護岸工事(小松南町工区)



延長(右岸) L = 340.00 m

工事施工場所 西宮市小松南町 花と緑あふれる美しい里土をつくりましょ  
完成予定年月 令和2年6月

小松地区低水護岸工事説明図。



整備計画河床まで掘削 自然石金網張り護岸



南部橋架橋終了。作業足場撤去作業進行中



右岸側取り付け道路工事が進む

木之元地区で進められていた名塩道工事に伴い176号線仮設道路工事が終わり使用開始され名塩道への付け替え工事が始まり、リバーサイト住宅跡地への道路も使用出来るようになった。住宅内の公園は旧来通り残っていたが、住宅跡地は更地になり、パラペットの高さまで盛り土、宅地化されたような感じ。水管橋塗装工事も終わり、買い物帰りの二人連れが青葉台方向へ渡り、水管橋が生活道路として使われていた。車社会なのに徒歩で買い物に出掛けるのは少し時代遅れのような印象を受けたが、青葉台の居住者が高齢しているなら当然なことだろうが、急斜面地域での高齢化が進むと生活上不便と緊急時の避難も大変なことになりそう。小松地区低水護岸改修が終わった。計画河床まで金網自然石張りの低水護岸ができた。しかしテナガエビが潜んでいた空間がなくなり、見せかけの自然が果たして生きものにとって良いのか悪いのか分からない。舗装や付属施設工事を残し南部橋架橋工事が終わり作業足場撤去工事が進行中。右岸側の取り付け道路工事も順調に進んでいるように見えるが、左岸側は手つかずで難航している模様で開通までには相当時間が掛かりそうな雰囲気。阪神橋梁付近の拡幅・護岸改修工事が終われば、いよいよ潮止め堰撤去に取り掛かれそう。南部橋に取り残されたお地蔵さんの行方も気になる。